

こまがね

市議会だより

2025.7.20

6月定例会

No. 106



中央アルプスと残雪が田んぼに映える
さなえだ
早苗田が美しい下平を訪ねました。

米の値段も気になります。今号では、6月定例会で多くの議員が米に関して一般質問した内容などをお届けします。

📷 撮影場所

中島和彦
広報広聴委員長



P8～P15
**13人が登壇！
一般質問**

特集 新たな体制でスタートします！
議長・副議長・委員会構成が決まりました・・・P2～3
委員会審査報告・・・P4～5
議案等審議結果・・・P6～7
報告・・・P15
功労表彰・編集後記・・・P16



市議会
ホームページ

特集

新たな体制でスタートします!

～5月の臨時会において議長・副議長・委員会構成が新しくなりました～

市議選から2年が過ぎ、議員の任期も折り返しを迎えました。

5月の臨時会において議長、副議長、委員会構成が決まりました。新しい議会構成と議員の抱負を改めて紹介します。

- ① 会派名/当選回数/行政区
- ② 趣味、日課など
- ☺ 抱負

総務産業 委員会

市の計画、予算、税金、防災対策、農林業、商工業、観光、移住などの議案を審査します。



①改進黨/2回/北割1区 ②野菜づくり、読書



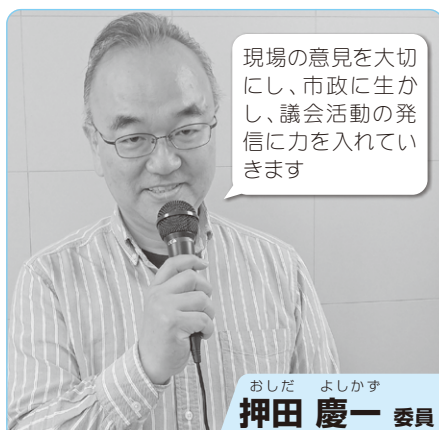
①三鏡会/1回/福岡区 ②山野草の栽培



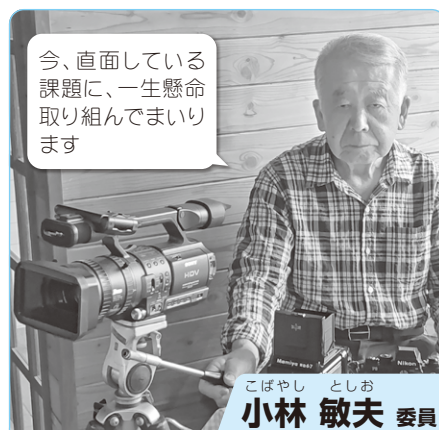
①無会派/3回/北割2区 ②園芸福祉、歌声喫茶



①アルプス/4回/中沢区 ②風景写真の撮影



①創風すずらん/1回/上穂町区 ②カラオケ



①至誠会/5回/南割区 ②写真、ビデオ撮影



①創風すずらん/1回/下平区 ②レモンの木を育て中

議会運営委員会

定例会の日程や議会の進行など、議会の円滑な運営のために会議の進め方などについて協議します。

委員長：竹村 誉 副委員長：押田慶一
委員：藤井邦彦、小原晃一、中山万宝、今堀雷三

広報広聴委員会

議会だよりの発行、意見交換会の開催などを通じて市民の皆さんとの情報共有を推進します。

委員長：中島和彦 副委員長：中山万宝
委員：小原茂幸、竹村 誉、小原晃一、竹村知子、福澤美香、今堀雷三



議長

議長あいさつ

市議会が新体制でスタートしました。
4年任期の後半を迎え、さらなる資質の向上を図り、一丸となって取り組みます。物価高、米不足など社会情勢が厳しい中において、住民福祉の向上のため、議会としても対話を通して市民の皆さまのご意見を市政に反映させる議会運営に努めてまいります。



議員写真は、趣味などの普段の議員の様子を撮影しました。

教育民生建設 委員会

福祉、健康、医療、介護、生涯学習、スポーツ、保育園、小中学校などの議案を審査します。



1期目の後半は、教育民生建設委員長として、さまざまな問題に取り組みます！

いまほり らいぞう
今堀 雷三 委員長

①至誠会/1回/福岡区 ②早朝ウォーキング



市民の皆さまの声なき声、小さな声に耳を傾け市政に届けていきます

ふじい くにひこ
藤井 邦彦 副委員長

①無会派/1回/小町屋区 ②鉄道旅、スキー



市監査委員を拝命しました。己を磨き、誰もが住み良いまちを探究します

みやした みのもる
宮下 稔 委員

①改進黨/2回/中沢区 ②孫の送迎、ゴルフ(ボンコツ)



誰もが人として大切にされ、生きていくために一緒に声を上げていきます

たけがみ ようこ
竹上 陽子 委員

①アルプス/1回/南割区 ②クロスワードパズル



さらに多くの地域のネットワークを頂き、孤立したり、困っている人たちのサポート体制を増やしたい

いけだ さちよ
池田 幸代 委員

①アルプス/2回/福岡区 ②読書、旅行



「先んずれば人を制す」(他者よりも先に準備、行動した人が勝つ。)という故事。この言葉を胸に、市民の声を市政へつないでいきます

たけむら ともこ
竹村 知子 委員

①改進黨/3回/中沢区 ②バ育でなどガーデニング

議会機能向上推進委員会

駒ヶ根市議会の基本理念や基本方針を規定した議会基本条例の検証をはじめ、政策の事前・事後検証に向けた対話の実践、タブレット端末の運用などICT化の推進、主権者教育の取り組みなどを推進します。

委員長：竹村 誉 副委員長：押田慶一
委員：藤井邦彦、小原晃一、福澤美香、中山万宝、今堀雷三

議員の中から選任された監査委員

宮下 稔



副議長

建設的な議論を進めながら、生産的な価値を生み出せるような環境づくりを努めたい

なかじま かずひこ
中島 和彦 委員

①三鏡会/2回/町2区 ②歴史探訪

委員会審査の主なもの 総務産業委員会

6月17日・23日に開催した総務産業委員会では、駒ヶ根市市税条例の一部改正をはじめ、一般会計補正予算など4件の議案を審査しました。審査した議案の主な内容と質疑をお知らせします。

提出された議案は、本会議で直ちに採決する場合もありますが、より詳しく審査するため、所管の常任委員会に付託し、委員会として賛成・反対を決定します。



①「駒ヶ根市市税条例の一部を改正する条例」を改正

地方税法の一部改正に伴い、必要な事項の改正として（市税条例改正について）、1.公示送達等、2.個人住民税、3.市たばこ税（附則改正）などについて、審議をしました。



問 改正による加熱式たばこに関わるたばこ税（市税）への影響額は。

答 税負担の増による商品の買い控えや値上がりについては見込んでいないが、現在の本数と同程度だとした場合、およそ2,000万円の増収と見込んでいる。

問 加熱式たばこを吸う人の負担の増加はどれくらいか。

答 税率の改正ではなく、本数を換算する計算が変わることから一概には難しいが、一般的には、1箱あたり50円から100円程度値上がりとなる可能性がある。

＜議案第49号 駒ヶ根市市税条例の一部を改正する条例＞

② 県の補助制度を活用し、新たな農業技術を支援

県の信州農業生産力強化対策事業を活用し、新たな農業技術による農業設備の導入を支援します。



問 補正額の329万5千円の詳細は。

答 ぶどう栽培の雨よけ施設導入にかかる事業費200万円に対する補助額100万円と、花き栽培の細霧冷房装置導入にかかる事業費459万円に対する補助額229万5千円である。

問 県の補助事業だが、市内農家から他の申請はあったのか。採択される基準は。

答 3件の申請があり、2件が採択された。審査はポイント制で行われ、県が推進する取り組みを実施することで、ポイントが高くなり、採択されやすいと思われる。

＜議案第51号 令和7年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第3号）329万円＞

③ 消防団災害対応特殊消防ポンプ自動車（第1分団2号車）を更新します

火災やその他の災害時に、消火活動や救助活動、警戒活動、広報活動などを行うために使用されます。災害時以外にも、防火訓練や防災訓練など、さまざまな場面で活用されます。

問 令和5年発注時と比較して、金額が大きくなっているがその要因は。

答 サイバーセキュリティ関係の標準装備や、排ガス検査規制に対する対応および資機材の鉄材・塗装などの輸入コストなどが要因となっている。

問 車両の保守点検費用や耐用年数は。

答 指令車を含め29台の消防関係車両を有しており、令和6年度は、約500万円の維持・修繕費を支出している。1台あたり約17万円となっている。車両の更新については、近年は25年経過したものを更新している状況で、今回の車両は、26年経過したものとなる。

＜議案第54号 令和7年度（繰越）消防施設管理事業 駒ヶ根市消防団災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得について 3,036万円＞



購入する災害対応特殊消防ポンプ自動車と同タイプの車両



購入後26年経過した、現第1分団2号車



委員会審査の主なもの 教育民生建設委員会

6月18日・23日に開催した教育民生建設委員会では、駒ヶ根市後期高齢者医療に関する条例及び駒ヶ根市国民健康保険条例の一部改正をはじめ、一般会計補正予算など3件の議案を審査しました。

審査した議案の主な内容と質疑をお知らせします。

①難聴の方の補聴器購入費用を助成します



高齢者などの社会参加を促し、認知症の予防に資することを目的に、聴力機能の低下により日常生活で意思疎通を図ることに支障を来している高齢者などの補聴器購入に要する費用を助成します。

問 申請方法は。また、補聴器購入補助は通販のものも含むのか。

答 申請は、購入前に耳鼻科を受診し、医師の意見書をもらうとともに、指定業者の見積書を添付の上、市へ申請する。要件に合う申請者には、決定通知書を交付するので、その後、補聴器を購入いただく。購入後、申請者は、実績報告と請求を市へ提出することで補助金を申請者に支払う流れになっている。

市の補装具の指定を受けた補聴器販売業者が作成した見積書の添付が必要なため、通販で購入するものは対象外となる。

概 要	
対 象 者	①市内に住所を有する18歳以上の者 ②身体障害者福祉法の規定に基づく聴覚に係る障害により身体障害者手帳の交付を受けていない者 ③両耳の聴力レベルが70デシベル未満の者
補 助 率	1/3 但し、住民税非課税世帯は2/3
上 限 額	3万円
再 申 請	5年経過後
そ の 他	専門医師の意見書が必要。 修理などは含まない。

<議案第51号 令和7年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第3号) 60万円>

②道路陥没対策のための水路改修工事を行います

道路の陥没を防ぐため、市道1-488号線(武道館西側)道路下の水路の改修工事を行います。

問 道路下に河川があり陥没するような箇所は市内に他にもあるのか。

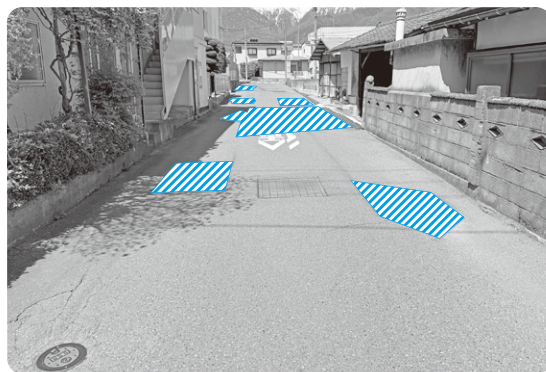
答 同様な箇所は、市内の他の場所にもあるが、現在確認する中で、この場所のように、範囲が広く陥没の頻度が多い場所はこの箇所のみであるため改修工事を行っていく。

問 新たに※ボックスカルバートへの改修が必要とのことだが、どのように調査したのか。

答 カメラや目視で確認し、状態があまり良くないことを確認した。

※ボックスカルバート

主に地中に埋設され、水路や通信線などの収容に使われる箱型のコンクリート構造物のことで、その用途は多岐に渡ります。



市道1-488号線 多数の陥没箇所
(斜線箇所はこれまでの修繕部分)



改修が必要な路面下水路の現況

<議案第51号 令和7年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第3号) 2,800万円>

議案等審議結果

5月開催の臨時会及び6月開催の定例会において審議した結果を報告します。

令和7年 第3回 5月臨時会

● 全会一致：採決による議会の意思決定のとき、出席議員全員の意思が一致すること

● 契約、人事

議案等番号	件 名	付託委員会	賛否の多少	採決結果
議案第44号	令和5年度(繰越)消防施設管理事業 駒ヶ根市消防団災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得にかかる契約締結について	総務産業	全会一致	原案可決
議案第45号	文化センター改修事業 駒ヶ根総合文化センター屋根・外壁改修工事変更請負契約の締結について	教育民生建設	全会一致	原案可決

● 補正予算

年度途中の新たな事業などへの対応のため、必要な予算を追加・変更などを行うもので、議会の議決が必要
()は関連審査を行った委員会

議案等番号	件 名	付託委員会	賛否の多少	採決結果
議案第43号	令和7年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第2号)	総務産業 (教育民生建設)	全会一致	原案可決
	生活保護システム標準化対応、国や県の農林補助事業の内示に伴い補正するもの			

● 専決処分

緊急性が高く議会を招集する時間的余裕がない場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、市長が議会の議決に代わり意思決定すること。専決処分したものは、市長が次の議会で報告し、承認を求める

議案等番号	件 名	賛否の多少	採決結果
議案第39号	駒ヶ根市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	全会一致	原案承認
議案第40号	駒ヶ根市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	全会一致	原案承認
議案第41号	駒ヶ根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	全会一致	原案承認
議案第42号	令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第14号)の専決処分の承認を求めることについて	全会一致	原案承認

● 賛否が分かれた議案等に対する
会派・議員別賛否

●賛否が分かれた議案等に対する 会派・議員別賛否		至誠会		アルプス		改進の会		創風すずらん		三鏡会		無会派		採決結果			
		小林 敏夫	今堀 雷三	竹村 誉	池田 幸代	竹上 陽子	小原 晃一	宮下 稔	竹村 知子	押田 慶一	福澤 美香	氣賀澤 葉子	中山 万宝		中島 和彦	小原 茂幸	藤井 邦彦
議案等番号	件 名	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	○	原案同意 (賛成 12 反対 1)
議案第46号	駒ヶ根市監査委員の選任について (宮下稔氏、新任)																

○は原案に賛成、×は原案に反対。なお、議長は賛否同数の場合以外は採決には加わりません。

令和7年 第4回 6月定例会

● 人事、条例の一部改正など

議案等番号	件 名	付託委員会	賛否の多少	採決結果
議案第47号	駒ヶ根市公平委員会委員の選任について(下井幸一氏、新任)	—	全会一致	原案同意
議案第48号	駒ヶ根市固定資産評価審査委員会委員の選任について(氣賀澤正門氏、再任)	—	全会一致	原案同意
議案第49号	駒ヶ根市市税条例の一部を改正する条例	総務産業	全会一致	原案可決
議案第50号	駒ヶ根市後期高齢者医療に関する条例及び駒ヶ根市国民健康保険条例の一部を改正する条例	教育民生建設	全会一致	原案可決
議案第52号	駒ヶ根市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例	総務産業	全会一致	原案可決
議案第54号	令和7年度(繰越)消防施設管理事業 駒ヶ根市消防団災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得について	総務産業	全会一致	原案可決

● 補正予算

年度途中の新たな事業などへの対応のため、必要な予算を追加・変更などを行うもので、議会の議決が必要
()は関連審査を行った委員会

議案等番号	件 名	付託委員会	賛否の多少	採決結果
議案第51号	令和7年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第3号)	総務産業 (教育民生建設)	全会一致	原案可決
	概要及び主な審査内容は、「委員会審査報告」ページをご覧ください。 学校教育施設などの照明のLED化事業、道路陥没対策のための水路改修工事などを行うための補正			
議案第53号	令和7年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第4号)	教育民生建設	全会一致	原案可決

● 報告

議案等番号	件 名	議案等番号	件 名
報告第7号	令和6年度駒ヶ根市一般会計予算継続費繰越計算書の報告について	報告第12号	株式会社エコーシティー・駒ヶ岳の経営状況を説明する書類について
報告第8号	令和6年度駒ヶ根市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告第13号	駒ヶ根市土地開発公社の経営状況を説明する書類について
報告第9号	令和6年度駒ヶ根市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告第14号	駒ヶ根高原温泉開発株式会社の経営状況を説明する書類について
報告第10号	令和6年度駒ヶ根市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告第15号	一般財団法人駒ヶ根市給食財団の経営状況を説明する書類について
報告第11号	令和6年度駒ヶ根市農業集落排水事業会計予算繰越計算書の報告について	報告第16号	公益財団法人駒ヶ根市文化財団の経営状況を説明する書類について

● 議員からの発議

議員が議案を議会に提出し、審議を求めること

議案等番号	件 名	賛否の多少	採決結果
議 第3号	食料自給率の向上に向けて安定的な米生産ができる農業対策を求める意見書	全会一致	原案可決
	食料自給率向上と米の安定供給に向けた抜本的農業対策の実施を求めるもの		
議 第4号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」および「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書	全会一致	原案可決
	少人数学級推進と教員の持ち授業時数軽減のための教員定数の改善、国の施策として十分な教員配置を行うための財源保障を求めるもの		
議 第5号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書	全会一致	原案可決
	子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善などを求めるもの		

※カリキュラム・オーバーロード
国の教育課程基準に基づき、学校が定めた教育課程の時数と内容が過多になっていて、子どもや教職員に過大な負担がかかっている状態。

● 賛否が分かれた議案等に対する会派・議員別賛否

		至誠会		アルプス		改進の会		創風すずらん		三鏡会		無会派		採決結果			
番 号	件 名	小林	今堀	竹村	池田	竹上	小原	宮下	竹村	押田	福澤	氣賀澤	中山		中島	小原	藤井
陳情 第3号	消費税率 5 % 以下への引き下げを求める陳情書 【総務産業委員会審査結果：不採択】																不採択 (賛成 10 反対 4)
	消費税率を 5 % 以下へ引き下げることについて、政府に対し意見書提出を求めるもの	敏夫	雷三	誉	幸代	陽子	晃一	稔	知子	慶一	美香	葉子	万宝	和彦	茂幸	邦彦	
		○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は委員会審査結果に賛成、×は委員会審査結果に反対。なお、議長は賛否同数の場合以外は採決には加わりません。

市政を問う

一般質問

今回、**13人**の議員が
一般質問を行いました!



一般質問

議員が市政について自由に質問することです。質問内容は「通告書」により締切日までに提出します。



詳しくはHPへ

各議員のQRコードからYouTubeの録画動画をご覧くださいことができます。

質問時間は30分

一人当たりの質問時間は30分。答弁時間は含みません。30分を超えて質問することはできません。

※一般質問は、エコーシティー・駒ヶ岳でも放送しています。一般質問の内容が、全て記事になっているとは限りません。

各議員のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、YouTubeから一般質問の様子が視聴できます。パソコンで視聴される場合は、「駒ヶ根市議会」で検索後、「一般質問録画中継」からご覧ください。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。)

- ① QRコードをカメラやアプリなどで読み取ります。(お使いの機種によって操作方法が異なりますのでご注意ください。)



- ② 画面に表示されたURLを選択すると議員の一般質問ページ(YouTubeページ)が表示され動画が始まります。

中山万宝 議員

福 答 現

問 福祉おむつ券の支給条件と申請方法は、また、令和6年度の申請人数と支給実績は、

市長 福祉おむつ券の交付対象は、在宅で寝たきりの方や障がい者要件を満たした方になる。高齢者は、一定の条件を満たした寝たきりや認知症の介護認定者で、日常生活において常に介護を要し、かつ常時おむつを必要とする方となる。福祉おむつ券の交付は申請に基づいて行われ、随時交付している。令和6年度のおむつ券申請者数は、高齢者で417人、交付枚数2万5,140枚、使用率68%である。

図 福祉おむつ券は、500円券 72枚、年

校、年

れる。

ではお

利用す

言えな

者の現

市長

いた

だいて

いない

。交付

された

おむ

つ券の

使用率

は、概

ね50%

～60%

台とい

う状況

。今の

ところ

物価高

騰の影

響も少

ないこ

とから

、現時

点で

交付限

度枚数

を増

やすこ

とは検

討し

ない。

②

その他

の質問

▶ハッ

チョウ

トンボ

の保護

活動

▶博物

館収蔵

物の耐

震対策

▶障が

い者の

投票に

ついて

店頭

にある

介護用

おむ

つ

① 一般質問終了後の感想を掲載しています。

② その他に行った質問を掲載しています。



福澤 美香 議員

問 送迎負担軽減にスクールバス導入検討を



質問動画はこちらから

答 スクールバスの導入は考えていない

問 下平区では、朝の通学時間帯に車が歩道へ乗り上げる事故が子どもの目の前で発生した。他の通学路でも事故が数件続いている。交通事故や犯罪などから子ども達を守る重要性は高まっており、危険な通学路のあるエリアや学校まで高低差のあるエリアなどから段階的にスクールバスを導入しては。

教育長 スクールバスの導入は考えていない。原則徒歩による通学を推奨するが、国の適正基準を超える通学距離になる場合はスクールタクシーや費用補助で支援を行っている。安全対策として交通安全教室や危険箇所の点検を実施し、学校

や警察などと協力して改善を進めている。安全と地域事情を考慮しながら、引き続き対応を検討していく。

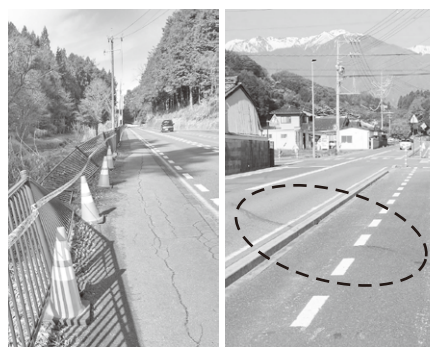
問 中学部活動の地域展開に伴い保護者の送迎が必要な場合が出てくる。東中と赤穂中を往復する送迎バスを今後準備する考えはあるか。

教育長 課題も想定されるが、現時点で導入の計画はない。当面平日は各中学校で活動し、休日は保護者の責任の下、現地集合現地解散とし、一定の条件で自転車移動も認める。

その他の質問 ▶ふるさと納税（現地決済型納税）について ▶会議にオンライン参加出来る仕組みを ▶天竜かっぱ広場のトイレ改修を

質問後の感想

国の適正通学距離は承知の上での質問。交通安全教室を実施しても車は突っ込んでくる。家庭環境も「当たり前」も昔とはだいぶ変化している。手薄になっている小中高生保護者へ市独自の子育て施策を。



通学路に残る事故跡とブレーキ痕



今堀 雷三 議員

問 高校の再編・統合による人材不足解消は



質問動画はこちらから

答 人材確保対策を検討する懇談会を計画

問 駒ヶ根工業高校統合後の移転により市内企業の人材不足が深刻化する懸念があるが対策は。

市長 令和3年度よりウミガメプロジェクト事業を実施し、若者が地元に戻ってくるきっかけづくりを進めている。また、市内48社でつくる駒ヶ根雇用対策協議会で、人材確保対策などを検討する懇談会を新たに年に2～3回実施する予定。

問 学校の移転により地元企業とのインターンシップや課題研究など産学連携をより推進する考えは。

市長 県の新校再編実施基本計画の構想では、新校の生徒を上伊那地域全体で育てるプラットフォーム

を設け、産学連携を重視していく方針。市としても地元企業への理解が深められるよう支援をしていく。

問 学校が無くなることで地域の人口や活力が減少しないか。また、学校跡地の利活用策は。

市長 人の流れ、にぎわいの低下は懸念される。一方、伊那福岡駅東側に新病院建設予定もある。周辺整備を含めた効果を生かし、新たな人の流れを生み出す可能性はある。また、高校の敷地利用は地域の魅力を高める戦略を住民の皆さんと協議し、新たな活性化策へつなげたい。

その他の質問 ▶老朽空き家解体補助金 ▶自治組織の在り方検討会 他

質問後の感想

時間的猶予はありますが、市内から工業高校が無くなることでどのような影響を受けるか。その影響を少しでも緩和させるにはどうすれば良いかを駒ヶ根市全体で考える機会になれば幸いです。



人材を輩出している駒ヶ根工業高校



小林 敏夫 議員

問 令和7年産米の作付けは



質問動画はこちらから

答 作付面積は5月末時点で約726haである

問 昨年より日本全国で米騒動が起きている。政府備蓄米は、100万トンが適正水準とされている中、残りはあと10万トンになってしまったとのことである。今まで出された米は、まだ完全には流通、消費されておらず、どこかでこの逆の米騒動が起きそうな予感がする。そこで、当市の令和6年と7年の作付面積の状況は。また、令和4年度から8年度までの5年間に、水稻作付または水張りなどを行わない農地は、令和9年度以降、水田活用の直接支払い交付金の対象から除外されることになったが、水張りの確認ができた面積の状況は。

市長 主食用米の生産は、長野県農業再生協議会の生産数量目安値に基づき、駒ヶ根市地域農業再生協議会が中心となって農家に生産面積の目安を配分している。作付面積は、令和6年が約680ha、令和7年が約726haとなっている。また、今年度、水稻の作付けが予定されていない水田は約552haあるが、水張りの確認が行われた面積は約35haとなっている。

その他の質問

- ▶中高生の学習スペース進捗状況は
- ▶磐田の森の場所を移転すべきでは

質問後の感想

米の生産調整はまだ暗黙に生きているが、当市の水稲作付面積は昨年より約46haの増。国の備蓄米も残り10万トン。出した米の物流と消費が遅れており、どんな現象が起こるか心配される。



今年の主食用米、五穀豊穡を祈る



宮下 稔 議員

問 聖苑使用料の市民への配慮は



質問動画はこちらから

答 伊南行政組合とルールの見直しを進める

問 伊南聖苑の使用料の扱いについて市民から不満というか要望をいただいた。「長男の母親が、施設入所が必要となり市内で探したが見つからず、娘さんが住む他市で見つかり、住所を移して施設に入った。先般、この母親が亡くなり、長男が暮らす自宅に帰り菩提寺で葬儀を営むこととなった。火葬場の仮予約の段階では伊南管内の方として使用料が扱われたが、死亡届書の母親の住所と届出人となった娘さんの住所が他市であったことから、伊南管内以外の方の扱いに変更された。」市長は、この件を承知しているか。

市長 市へも問い合わせがあり承知している。先日、市民課を通じて配慮が足りなかったことをお詫びしたところである。

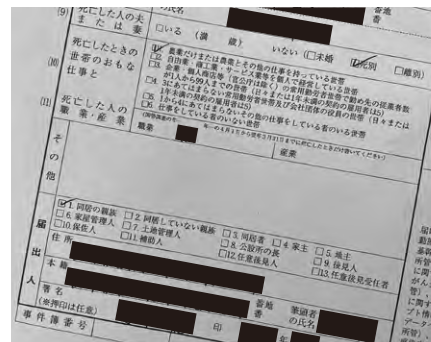
問 伊南行政組合の関係条例や規則に減免規程もあり、柔軟な対応も可能なはず。一生に一度の時、市民の思いや実情を酌むよう行政組合へ内規の見直しを働きかけないか。

市長 ご本人や届出人の住所が市外であっても、市民の立場に寄り添った対応ができるよう、伊南行政組合と運用の見直しを進めていく。

その他の質問 ▶地区子ども会の充実
▶教職員住宅の活用と個別計画の進捗状況は

質問後の感想

書類上の形より実態に即して市民の心に配慮した対応ができるようにしていく、との市長答弁。市民に優しい駒ヶ根市政へ一歩前進してありがたい。声を届けてくださった市民の方に感謝します。



葬祭執行者が市民ならOKに



竹村 誉 議員

問 訪問介護事業所を支援する考えは



質問動画はこちらから

答 市が直接補助をすることは適切ではない

問 当市の在宅介護の実態は。

市長 市内在宅介護認定者は、およそ 950 人。在宅介護の訪問介護事業所は7ヶ所で、利用者は月 235 人。

問 訪問介護報酬が引き下げられ、訪問移動の配慮も介護報酬に算定されない。移動距離が長い事業所にとっては、サービスを提供すればするほど、深刻な経費負担を招いて、地域の訪問介護を守っていくことが困難だ。車両に掛かる費用負担などを市で支援する考えは。

市長 基本報酬引き下げは国の介護保険制度の中で設定をされており、市が直接補助をすることは適切ではない。

問 介護に関わる人材不足が深刻だ。人材育成など、介護を担っていただける方を後押しする、さらなる支援策の考えは。

市長 市として、訪問介護に必要な資格取得のための研修、介護職員初任者研修を開催し、人材確保に向けて取り組んでいる。介護に関する入門的研修は、6年度は 31 人の受講があり、このうち4人が、介護職員初任者研修に進んでいる。

その他の質問

▶当市でもコメの生産調整政策を転換するべきではないか

▶枯損木の実態と抜倒処理の進捗は

質問後の感想

自治体によっては、市内事業者を守るため、介護報酬引き下げの減収分の補填や車両1台あたりの維持費の補助を図るなどの事例も生まれている。当市も在宅介護を維持するためにも実現してほしい。



田舎を駆け、訪問介護の移動は大変



小原 茂幸 議員

問 稲作の生産調整見直しと今後の方針は



質問動画はこちらから

答 市場の動向を見て柔軟に対応する

問 全国적으로お米が不足し、販売価格は前年の約2倍と高騰している。

食料自給率の低い日本にとってお米は主食である。地球温暖化による気候変動の影響や、国際情勢の不安定化による食料安全保障への危惧も高まっている。さらに農業者の高齢化と担い手不足は深刻な状況だ。日本の農業と食糧環境は大きな転換期を迎えている。

行政として、稲作の生産調整を見直すなど、地域農業をどのように守り支援していくのか、方針は。

市長 生産調整は急激な生産量の増加によって、米価が暴落することを防ぐための中長期的な判断であ

り、担い手不足、収益の低下といった課題が深刻化する中、農業経営全体の安定と地域農業の持続性を見据えた対応だと考える。

安定した農業を続け、地域の農業を次世代へつなげるためには、市場の動きを見ながら、柔軟に対応することが必要で、需給バランスを保つことは重要だと考える。国では生産調整の緩和や所得補償制度の新設についても議論を始めた。こうした動向を注視しながら、市としての対応を検討していく。

その他の質問

▶職員のメンタルヘルスについて

▶文化財保護について

質問後の感想

全国的な米不足と米価高騰が問題になり、13 名中5名が農業に関する質問をした。稲作への国の認識や方針は日々変化し、政府による消費者価格と生産者価格への今後の方針が気になるところだ。



転作作物である小麦の収穫



藤井 邦彦 議員

問 子ども・子育て調査から何を把握したか



質問動画はこちらから

答 新たな視点で対応すべき分野が明らかに

問 市が「駒ヶ根市子ども・子育てに関するニーズ調査」を実施し、また「第2期子ども・子育て支援事業計画」を評価したことは意義がある。その調査と評価の結果から、市はどのような課題や傾向を把握したか。また、その分析結果を「駒ヶ根市子ども計画」にはどのように反映させるのか。あるいは位置づけるのか。

教育長 こども家庭センター設置による関係部署の連携強化や、子育てで全力応援により各種支援事業の利用者負担の助成による利用者の増加など一定の成果を上げた分野がある。一方で、保育ニーズに安定して対応できる職員体制が整っていない

など引き続き取り組みが必要な分野や、新たな視点での対応が必要な分野などが明らかになった。アンケート調査から、今後、教育・保育の費用負担や学費などの経済的支援の充実、子育て支援や子育て環境の充実が挙げられた。計画に掲げる施策を着実に推進する上で、調査結果の分析や把握により、課題を認識するとともに、社会情勢や市民ニーズの変化の動向を捉えて、必要に応じて柔軟に見直しを図る。

その他の質問 ▶地域公共交通に関する市民の声への対応は ▶これからの正規職員雇用のあり方について ▶子どもの権利委員会への見解

質問後の感想

駒ヶ根市こども計画は、「こどもまんなか社会」実現に向けて大切な一歩です。その計画が、国の指針通り、柔軟に見直していくことを確認できました。今後、世の中の変化に対応しているか注視していきます。



こどもまんなか社会実現を目指して



中山 万宝 議員

問 福祉おむつ券の増額を



質問動画はこちらから

答 現時点で交付限度額を増やすことはない

問 福祉おむつ券の支給条件と申請方法は。また、令和6年度の申請人数と支給実績は。

市長 福祉おむつ券の交付対象は、在宅で寝たきりの方や障がい者要件を満たした方になる。高齢者は、一定の条件を満たした寝たきりや認知症の介護認定者で、日常生活において常に介護を要し、かつ常時おむつを必要とする方となる。福祉おむつ券の交付は申請に基づいて行われ、随時受付している。令和6年度のおむつ券申請者数は、高齢者で417人、交付枚数2万5,140枚、使用率68%である。

問 福祉おむつ券は、500円券72

枚、年間3万6,000円相当が支給される。個人差があるが、支給分だけではおむつが足りず、使用控えや再利用の方がおり、不足していても言えない状況があると考える。利用者の現状と増額の検討は。

市長 交付枚数以上の要望は現在いただいていない。交付されたおむつ券の使用率は、概ね50%～60%台という状況。今のところ物価高騰の影響も少ないことから、現時点で交付限度枚数を増やすことは検討していない。

その他の質問 ▶ハッチョウトンボの保護活動 ▶博物館収蔵物の耐震対策 ▶障がい者の投票について

質問後の感想

増額しないことは大変残念である。使用率は、なぜそのような評価なのか、内容分析すべきだ。市も利用者の状況や声を聴き、改善へと進めてほしい。質問は通り一遍になり反省している。



店頭にある介護用おむつ



小原 晃一 議員

問 市として米の生産調整推進の方針は



質問動画はこちらから

答 需要に応じた生産を進める計画を合意

問 5月に開催した地域農業再生協議会で、令和7年産米の生産調整推進の方針に対して生産者からどのような意見が出されたか。

市長 米の需要が高まる中、不足分を輸入で補うのは矛盾している。国内生産を抑え、輸入で賄うのはあってはならないという意見が出た。

問 上伊那他市町村の米生産の方針をどう捉えているのか。

市長 上伊那では、大半の市町村が県の生産数量目安値に基づいた米生産を行う方針と伺っている。

問 市内、米生産者に生産抑制を求めず、本年の目安値を超えた24haの米生産は、農家の判断に委ね、尊

重する考えであるのか、ないのか。

市長 尊重する、しないということではなく、そういう判断がなされたとして受け止めている。

問 市内生産の多収量の晩生種「縁結び米」は、食味良好で倒れにくい。早太郎米や雷鳥米、結婚式のお返し米、ふるさと納税返礼米などとしてブランド化の検討はできないか。

市長 市独自のブランド化は、産地としての明確なストーリー性、農薬・化学肥料の削減など付加価値の創出が必要。現時点では、ブランド化は難しい。

その他の質問 ▶高齢者支援の現状と課題は ▶平和教育などの取り組み

質問後の感想

令和の米騒動の中、南箕輪村や箕輪町は、「目安値」を超過した作付面積の生産抑制をせず、農家の生産意欲を尊重している。市長は、目安値にこだわらず、当市の農業を市民全体でさらに支える気がほしい。



市内生産の令和6年産「縁結び米」



押田 慶一 議員

問 市総合戦略と総合計画を統合する考えは



質問動画はこちらから

答 次期総合計画に包含できるか検討する

問 第2期総合戦略は、人口の現状と将来の姿を踏まえ、人口減少を克服し将来にわたって活力ある駒ヶ根市を、実現するために策定されたものであるが、この取り組みをどのように評価及び総括するか。

市長 移住施策などにより、人口の社会増加につながったことで、人口減少のペースは抑制された。しかし、結婚・出産・子育ての目標値は全国的に未婚・晩婚化が進み、下回った。

問 令和7年度よりスタートした第3期総合戦略では、第2期で未達成の課題や第3期での新たな取り組みをどのように考えているか。

市長 人口減少の抑制、地域社会の

維持、活性化に向けた施策を進める。また、地域間・地域内の連携、デジタル化の推進、SDGsの推進である。

問 総合戦略の施策は、駒ヶ根市の最上位計画の総合計画に含まれている。令和9年度より開始予定の第6次総合計画に総合戦略を統合した方が、両施策の整合性がとれると思うがその考えはあるか。

市長 人口減少への対応が最重要課題の一つとなっており、二つの計画は重なる部分が多い。次期総合計画改定時に包含できるか検討する。

その他の質問
▶震災後の被災者支援に備える設備や対応についての考えは

質問後の感想

昨年の出生数は初の70万人割れとなり、少子化が止まらない。これを少しでも緩やかにするためにも、総合戦略を第6次総合計画策定時に統合し、政策を効率的に進めることが必要ではないかと思う。



総合戦略と総合計画は一对である



竹上 陽子 議員

問 学校トイレに生理用品を設置する考えは



質問動画はこちらから

答 現時点では、設置は考えていない

問 日本の子どもの9人に1人が貧困という深刻な社会問題があり、「生理の貧困」が顕在化した。

2022年に内閣府は、生理用品の無償配布の調査結果を公表した。

10～20代では、購入、入手に苦労した人が13%いることが分かった。この結果をもとに、公共施設や小中高校へ設置が広がってきている。

県内でも、長野市、松本市をはじめ、自治体の公共施設、小中高校に設置されるようになってきた。上伊那においても、中川村、飯島町、宮田村などで、小中学校に自治体予算により設置されている。経済的理由によって、生理用品が十分使えず、

健康的な生活が脅かされることがないよう、小中学校トイレに設置する考えは。

教育長 市内の全小中学校では、生理用品が保健室に置いてあり、子どもとの会話を通して健康や家庭の状況などを知るために養護教諭が直接渡している。学校のトイレに設置した場合、持ち出しや、家庭の状況把握がしづらくなる。現時点では、設置は考えていない。

その他の質問

▶米不足と米価格高騰について

▶移動購買事業への財政支援について

質問後の感想

以前、松本市の公共施設でトイレを利用した時、生理用品がさりげなく置かれていました。生理は当たり前のこととして、「トイレットペーパーのように生理用品をトイレに設置」されることが必要です。



熊本県人吉市での設置事例



竹村 知子 議員

問 保健師の役割と予防重視の支援体制は



質問動画はこちらから

答 住民自身が気づき行動に移すことが目的

問 自身の健康に関心を持ち、予防への意識として病気になってから治すのではなく、病気を未然に防ぐ予防医療への関心が高まっている。住民の健康づくりを支援する保健師の役割は重要である。保健師の具体的な活動内容や地域との連携状況は。

民生部長 保健師の具体的な活動は、個別支援を軸に個々の健診データ、医療費や介護、死因の原因疾患などをもとに健康問題の要素を分析し、地域全体の健康課題を明確にする。その課題を共有し解決のために、個別支援や健康教育を通じて、世帯全体の生活改善につなげる活

動をしている。地域では、分館や通いの場などと連携し、健康づくりに関する出前講座を実施している。

問 健康データの経年変化の分析や結果を生かした個別対応にどのように取り組んでいるのか。

民生部長 経年表を作成し、分析とともにわかりやすい説明資料を選び、本人の話を丁寧に聞き取りながら、データを一緒に確認している。保健指導は単なる知識の提供ではなく、住民自身が気づき、納得し行動に移すことを目的としている。

その他の質問 ▶保育園、幼稚園の耐震化 ▶訪問看護の利用状況と課題 ▶ビジネススクアラーの実態と支援

質問後の感想

保育園の耐震化の進捗と中沢保育園の今後の在り方について質問したが、漠然とした答弁で具体的な検討の説明がなかった。市民の関心が高い課題でもあり、もう少し説明がほしかった。非常に残念である。



健診データを一緒に確認し支援する



池田 幸代 議員

問 身寄りのない高齢者への支援方策は



質問動画はこちらから

答 2026年度中にガイドラインを作成

質問後の感想

地域の相談会で市民相談を受けているが、孤立した相談者の怒りを強く感じる。自分に向くか、他者に向くかの前に公民連携で介入できる体制が必要。

問 少子高齢化の進展は予想以上のスピードで高齢者単身世帯も急増。介護保険サービス以外の生活ニーズの支援が必要だが、身寄りのない高齢者支援策の検討はどこまで進んでいるか。

市長 今年に入り、独居生活をしてきた高齢者が亡くなる件数が前年比で増加。第9期介護保険事業計画に基づき、担当課がガイドライン作成の検討に入っている。

問 国を挙げて孤立・孤独対策に取り組む背景には、中高年以上の単身男性に多い孤立死や貧困・孤立に苦しみ闇バイトなどの犯罪に手を染める若者を減らす目的がある。

駒ヶ根市でもあらゆる施策に孤立予防の観点を入れられないか。

市長 政府の示した各府省庁にまたがる143の重点計画の多くは駒ヶ根市でも実施しているが、今後力を入れていく。

問 今年度からスタートした重層的支援体制整備事業の参加支援事業として、引きこもりの人たちの居場所づくりの手応えは。

市長 事業委託した社会福祉協議会で準備しているところである。

その他の質問

▶中間教室リニューアルに際して、当事者の子と保護者の意見反映は



孤立死を防ぐ居場所づくりを

「地域経営のための議会改革度調査2024」ランキング発表

駒ヶ根市議会が全国 74 位(長野県 5 位)にランクインしました

地域経営のための議会改革度調査とは、早稲田大学デモクラシー創造研究所(旧早稲田大学マニフェスト研究所)が全地方議会を対象に行う調査で、議会改革の取り組みや傾向を「政策力の強化」「主権者の参画」「議会機能の強化」の3つの柱で数値化しランキング形式で発表されます。

今回の調査では、全国1,788議会(回答数:1,544議会)を対象に行われ、駒ヶ根市議会は、全国 74 位/1,544議会(長野県 5 位/55議会)との評価を受けました。(2023年は全国128位)

特に、タブレットなどデジタルツールの活用や市民との対話の機会を増やした取り組みが評価され、「政策力の強化」では全国49位、「主権者の参画」では全国88位の結果となりました。

今後もさらなるレベルアップを図り、市民の皆さまに信頼される議会を目指し頑張ります！

●近年取り組む主なもの



高校生未来会議



ツキニミーティング

詳細は、「地域経営のための議会改革度調査」ホームページからご覧ください



小原茂幸議員と氣賀澤葉子議員が全国市議会議長会から表彰されました



小原茂幸議員

市政の振興、発展に貢献した功績により、小原茂幸議員と氣賀澤葉子議員が表彰されました。

小原茂幸議員は、正副議長として4年と議員在職10年の功績に対して、氣賀澤葉子議員は、議員在職10年の功績に対して、それぞれ表彰されました。

また、両議員は議員在職10年の議員活動に対し、北信越市議会議長会からも表彰されました。



氣賀澤葉子議員

“もっと”読みたくなる “もっと”わかりやすい 議会だよりに！

今号より新たなメンバー構成による議会だよりの編集がスタートしました。

これまでと同様、議会広報モニターの皆さまのご意見を参考にしながら、右の編集方針に基づき、議員が地域に出向いて取材を行うなど多くの方に読んでいただけるよう努力してまいります。

● 議会を身近に感じる読み手側に立った誌面づくり

市民目線（読み手側）に立った分かりやすい広報を心がけ、行政用語・議会用語の表現を工夫します

● 写真・見出しで分かる誌面づくり

写真や見出しを効果的に使用します

● 市民参加の誌面づくり

議会広報モニターの声を生かすとともに、市民参加の記事を掲載するよう努めます



皆さまの地域にお伺いし、ご意見をお聴きします！

駒ヶ根市議会では、より開かれた議会を目指し、市民の皆さまとの情報共有や多様な意見をお聴きする中で、政策提言・政策立案につなげられるよう「市民と議会の意見交換会」を開催しています。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

令和6年度は意見交換会を計4回開催しました

多くのご意見をいただきましたが、その中で市へ回答を求める必要があると判断した意見やお伝えした方が良いと判断した意見を市長に対して提出しました。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。



編集後記

今期、広報広聴委員会の委員長を仰せつかりました。昨年は、赤穂高校生との高校生未来会議を開催し、高校生の率直なアイデアや政策提案を通じて、我々も気づかなかった駒ヶ根市の明るい未来を創造でき、政策へもつながると実感しました。これは現場に足を運んだからこそ実感できたことです。地域の現状や魅力を知るには、我々がまちに出て、今まで知らなかった情報や風景、皆さまのご苦労などを自身で感じることでもあると思います。今後も積極的に情報を発信・収集するとともに、市民の皆さまと意見を交わせる場として「まちなかカフェ」などの取り組みを展開しながら活動を進めてまいります。また、議会だよりの表紙では、議員が市内を訪ねて、駒ヶ根市の隠れた魅力を取り上げてまいります。（中島和彦）

広報広聴委員会

委員長	中島	和彦
副委員長	中山	万宝
委員	小原	茂幸
委員	竹村	誉
委員	小原	晃一
委員	竹村	知子
委員	福澤	美香
委員	今堀	雷三

発行／駒ヶ根市議会 発行日／令和7年7月20日 編集／広報広聴委員会

〒399-4192 長野県駒ヶ根市赤須町20番1号 TEL.0265-81-6191（直通） <http://www.city.komagane.nagano.jp/>